

第7回松戸駅周辺まちづくり委員会議事録（概要版）

日 時 平成28年11月22日（火）10時～11時30分

場 所 松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席委員 委員11名（別紙委員名簿のとおり）

欠席委員 山崎委員、横井委員、大塚委員、原田委員

事務局 街づくり課長
他13名

傍聴者 6名

次 第

1. 戸定フォーラム予定地について
2. 春雨橋親水広場について
3. 新拠点ゾーンについて
4. その他

配付資料

1. 次第
2. 委員名簿
3. 説明資料
4. 松戸駅周辺まちづくり基本構想

説明

【戸定フォーラム予定地について】

○戸定フォーラム予定地の整備イメージ案について説明。

- ・今年度用地を取得する戸定フォーラム予定地を活用し、1段階目として、観光バス駐車スペース確保や公園入口からのバリアフリー化を行う。
- ・2段階目として、戸定歴史館の増床を予定している部分の整備について、教育委員会とともに今後検討していく。
- ・1段階目の観光バス駐車スペース確保については、駐車場の不足を解消するため、大型バスの駐車スペースを考慮し、さらに緑を多く配置するなど、景観にも配慮した駐車場整備の計画となっている。
- ・1段階目のバリアフリー化については、現在、公園入口から戸定邸の玄関までのスロープの迂回路があるが、条例の基準より急なため、条例の基準に則ったスロープを設置し、さらに駐車場からは、増床予定の戸定歴史館内部にエレベーターを設け、戸定邸の高さへ導く計画となっている。
- ・公園入口部分には、戸定邸の魅力をアピールするため、庭園のシンボルツリーであるコウヤマキの植樹を考えている。
- ・また、福島県寮跡地部分についても、教育委員会において今年度から2ヵ年をかけて庭園復元工事に着手している。

【春雨橋親水広場について】

○春雨橋親水広場の整備イメージ案について説明。

- ・親水広場は、松戸駅周辺まちづくり基本構想において、「歴史と水辺の回遊拠点」と位置づけられている。
- ・親水広場のコンセプトとしては、ウッドデッキを設け、献灯まつりなどの大きなイベント時は、川を挟んだ対岸に向かった仮設ステージとなり、小さなイベント時は、逆に親水広場内のベンチウォールに座る観客に向けて演奏などを行えるようになっている。
- ・ウッドデッキは現地盤から1.5メートル掘り下げる。
- ・歴史の回遊拠点としては、松戸宿が水運などにより繁栄していた時代について学習できる施設や休憩施設などが考えられるが、現在の地形では建てるのが難しいため、芝生の広場や舗装などの整備を行い、将来的に敷地を共同化し施設の設置を目指す。

【新拠点ゾーンについて】

○新拠点ゾーンの事業進捗状況について報告。

- ・新拠点ゾーンの開発は、約7ヘクタールを対象に検討している。
- ・新拠点ゾーンにおいては、国有地を取得し、公共施設を中心としたまちづくりを展開す

ることが望ましいと考え、現在検討を行っている。

- ・ 関東財務局と平成28年6月21日に、新拠点ゾーンについて最適な土地利用を検討する旨の覚書と交わし、現在、区画整理による基盤整備検討と公共施設の検討の2本の流れで検討を行っている。
- ・ 松戸駅周辺のまちづくりの検討においては、UR都市機構と平成28年6月23日にまちづくり協定を結び、新拠点ゾーンを含む松戸駅周辺全体のまちづくりに向けた計画案の策定を進めているところである。

【その他】

○ 矢切観光拠点の事業進捗状況について報告。

- ・ 矢切地区は、都市計画法や農地法の規制が厳しく、クリアしなければならない課題が多い。
- ・ 現在、参画条件やエリア等を民間にヒアリングしており、年度内の完了を目途としている。

審議内容（各委員からの意見）

【戸定フォーラム予定地について】

- ・ 高齢者対応のトイレや、憩える場所としてお茶を飲む場所、講演をするようなスペース等は整備しないのか。

⇒ 【担当課】 戸定歴史館増床部分でいろいろな施設等を検討したい。

- ・ 駐車場、戸定歴史館増床部分はそれぞれいつごろ完成か。ずれがあるのか。

⇒ 【担当課】 駐車場は今後2ヵ年くらいの間に整備したい。戸定歴史館増床部分についても進めていくが、駐車場のほうが先行するためタイムラグが出てしまう。

- ・ 周りの歩道などを和のテイストで統一し、公園に誘導するようにしてほしい。

【春雨橋親水広場について】

- ・ 将来、親水広場と対岸を行き来できるように橋などを検討してほしい。

- ・ 夏場休めるような日陰を確保してほしい。

- ・ イベント時に使う椅子などの道具の置き場所が近くにあると良い。

⇒ 【担当課】 40, 50人程度であればベンチウォールが観客席になる。

- ・ 高齢者等が車で来る場合に停めるスペースはあるのか。

⇒ 【担当課】 駅周辺ということで徒歩での来場を考えていた。今後の検討としたい。

- ・ 対岸ともう少し向かい合うような配置を考えたほうが良いのでないか。

- ・ トイレなどはこれから検討するのか。

⇒【担当課】将来、歴史の施設等ができれば一体で整備することになるが、当面はリニューアルされる近くの松戸神社のトイレを使ってもらおうことを考えている。

【新拠点ゾーンについて】

- ・松戸は文教都市というイメージがある。少子化が進む中、最後の投資をする意欲ある大学の誘致なども視野に入れて検討してほしい。
- ・公共施設再編において、資金調達の方法もしっかりと考えた上で行ってほしい。
- ・市民が憩える空間を作してほしい。
- ・緑をいかに残すかという点もしっかりと考えてほしい。
- ・今の松戸にないものとして、新しいタイプの大学、学部等、市がリーダーシップをとって誘致すると良いのではないか。
- ・人が集まる公共施設が市内に点在しているのは良いこと。新拠点ゾーンにただ集めるだけでなく、市内の他の場所の再開発とも関連して公共施設を再編したり、古い施設をリノベーションし新たなソフトを入れたりといったことも視野に入れて、新拠点ゾーンも含めた大きなビジョンを立ててはどうか。
- ・駅前から江戸川まで新しいシンボル軸としての道路の整備にあたり、可能な限り一体となるようなランドデザインを描いてやってほしい。
- ・松戸の文化施設には楽しさや居場所としての暖かさなどが欠けているので、ただハコモノを整備するだけでなくソフトの部分も充実させてほしい。

連絡事項等

- ・次回の委員会の開催日は、進捗状況に応じ検討する。

議事録署名委員 太下 義之 委員
岩田 富久司 委員